

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		①福祉、健康、ボランティア関係の参加団体がそれぞれの活動を活かし、すべての人々が楽しめる体験型のイベントを行う。 ②福祉、健康、ボランティア団体及び行政で実行委員会を設置し、市民と行政との協働で実施しているが、経験の継承が課題となっている。	149,973	113,399	6精査・検証	①フェアを通して、市民や参加団体(当事者団体、ボランティア団体、行政関係団体)の交流を大切にしつつ、広く市民の健康福祉に対する理解を深めるため、維持・継続したい。 ②来場者へのアンケートにより、フェアに対するニーズを把握し、次年度につなげていく。	48,228
2	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		①民生委員児童委員の調査、相談活動等を行うための活動費を補助する。 ②ひとり暮らし高齢者や生活困窮者の増加、子育て支援の拡充など多種多様な課題について、民生委員の負担が重くなってきており、民生委員へのフォローが課題。	6,156	6,463	6精査・検証	①25年12月の民生委員児童委員の一斉改選で委員の新旧交代があった(新任50人、再任104人)ことにより、新任民生委員に対する支援が重要となるため。 ②支援を必要とする地域住民に円滑な相談活動を行えるよう、民生委員児童委員を引き続き支援していく。	6,512
3	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	地域福祉に要する経費	社会福祉課			①誰もが住みやすい地域づくりや、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉に関する各種事業を行う。 ②社会を明るくする運動の更なる活性化やバリアフリー・マップや健康福祉などの地域福祉情報の内容充実が課題。	1,527	1,280	7拡充	①より多くの市民の理解と賛同を得られるよう啓発運動を進めるとともに、地域福祉情報の充実を図る必要があるため。 ②27年度に予定している地域福祉計画策定の基礎データとなるニーズ調査の円滑な実施を進める。	4,281
4	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			①無宗教献花形式で、年1回(10月下旬)戦没者追悼式を開催し、先の大戦における戦没者を追悼する。 ②戦没者遺族の高齢化が進み、戦没者追悼式への参列者が減少してきている。	570	538	6精査・検証	①戦没者の高齢化が進み、援護対象者は漸減してきているが、戦没者の追悼、平和への誓いを新たにすることは大切であるため。 ②遺族の慰靈の気持ちを尊重し、現行の取組みを維持する。	568
5	一般	3	1	1	1115安心して暮らせる 社会保障の充実	中国残留邦人等の支援に要する経費	社会福祉課			①老齢基礎年金を満額受給しても、なお生活の安定を十分に図ることができない特定中国残留邦人とその配偶者を対象に、原則として生活保護法の例により支援給付を行う。 ②支援給付対象者の高齢化が進み、介護の問題が重要な課題となっている。	18,425	16,413	6精査・検証	①法定受託事務として実施。支援相談員の配置により相互理解がより深まり、円滑な事務遂行がなされている。 ②今後も引き続き、支援給付対象者とその家族、支援相談員、ケースワーカー、関係機関と十分に連携しながら適切な処遇を実施していく。	23,777
6	一般	3	1	1	1115安心して暮らせる 社会保障の充実	住宅支援給付事業に要する経費	社会福祉課			①勤労意欲があるにも関わらず、住居を喪失している者又は喪失する恐れがある者を対象に6か月間(最大9か月間)を限度に家賃額を支給する。 ②平成22年度を頂点に年々制度を利用する者が減少している。	4,309	1,611	6精査・検証	①年々利用者が減少し、制度の見直しも検討されるが、国庫補助事業であることから、国の動向に注目する必要がある。 ②住宅支援給付事業の適正な運用。	8,823
7	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	バリアフリー化施設整備助成事業	社会福祉課	○	○	①視覚障がい者等の駅ホーム下への転落を未然に防ぐため、内方線付き点状ブロックの敷設を行う事業者に補助金を支出するもの。 ②内方線付き点状ブロックの敷設は利用者1万人以上の駅が対象となっているため、対象から漏れた駅が課題。	-	3,866	7拡充	①視覚障がい者等の転落を未然に防ぎ、障がい者等の安心安全な移動円滑化に寄与する必要があるため。 ②引き続き、東武新鎌ヶ谷駅の内方線付き点状ブロック敷設に対する補助を行う。	4,667
8	一般	3	1	2	111地域で支えあう 福祉社会の形成	総合福祉保健センターの管理に要する 経費	社会福祉課			①総合福祉保健センターの維持管理、補修、主要設備の保守点検等を行い、施設の安全面の確保を図る。 ②施設や設備の老朽化など耐用年数が近づいてきており、計画的な更新を考えていく必要がある。	38,166	38,033	7拡充	①自動ドア、身障者トイレなど緊急を要するもの及び保守点検で指摘を受けた都市ガス警報器、消防用設備を修繕したが、まだ指摘されている事項があるため。 ②引き続き、緊急を要するもの及び点検で指摘されている舞台吊物とキューピクルの修繕など、計画的な修繕を行う。	47,397
9	一般	3	1	2	111地域で支えあう 福祉社会の形成	総合福祉保健センター改修事業	社会福祉課	○	○	①公共交通施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、総合福祉保健センターの外壁、屋上防水等の改修工事を行う。 ②25年度に委託した設計を完了し、円滑に工事を進める必要がある。	-	8,001	7拡充	①限られた期間と予算から長期に亘らないよう注意が必要であるため。 ②早期に改修工事の契約を締結し、安全かつ適正に工事を実施していく。	124,800
10	一般	3	3	1	1115安心して暮らせる 社会保障の充実	生活保護事務に要する経費	社会福祉課			①生活保護事務に要する経費(電子レセプト点検委託料、生活保護電算処理システム使用料、非常勤職員賃金、その他消耗品費等) ②生活保護費の増加に伴い、今後とも事務費の増大が見込まれる。	73,716	115,229	6精査・検証	①生活保護事務に要する経費は法定受託事務であり、必不可少なものがあるので、事業の継続は必要と考える。 ②電子化されたレセプトや生活保護システムの活用などにより、適正な給付に努めていく。	10,702

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
11	一般	3	3	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護に要する経費	社会福祉課	○		①生活に困窮する被保護者に対して最低限度の生活を保障しつつ、被保護者の経済的自立、精神的自立を支援する。 ②年金受給権のない高齢者や働くことのできない者の増加により今後とも生活保護受給者は増加する見込みである。	2,027,079	2,190,419	6精査・検証	①生活保護は、生活困窮者にとって必要不可欠な制度であるため、今後も法定受託事務として市の実施が見込まれる。 ②生活保護制度は国の制度であり、また生活保護世帯の増減は、社会的背景に影響されるため、市としてコントロールすることは難しい。	2,492,505